

学級活動（１）指導案

1年1組 23名 指導者 林 智美

本実践は、以下の検証を行うものである。

- 本時の話し合い活動において、板書資料を工夫することで、話し合い活動入門期の子どもも、話し合い活動に興味・関心をもち、楽しく話し合い活動を進めたり、集団決定を行ったりすることができるのではないか。

1 議題 みんなで遊んで仲良くなるう （学級活動(1)ーウ）

2 子どもの実態

(1) 子どもの学級生活における実態

- 学校生活に少しずつ慣れてきて、近くの友達に話し掛ける姿が見られるが、周りのことより自分の世界で満足し、友達との関わりをもとうとしなかったり、自分からなかなか言葉を掛けられなかったりする子どももいる。
- 行ってよいことと悪いことについての理解はできているが、自分中心の考えの言動が多く、感情的、衝動的な言動によりけんかになってしまう場面が見られる。
- 自分の思ったことを発表できる子どもが増えているが、相手を意識せずに話すことが多い。
- 自分のことをすることに精一杯で、教師や友達の話を聞いて反応したり、最後まで話を聞いたりすることはまだ難しい。

(2) これまでの学級活動の取組

これまでに取組んできた議題
<ul style="list-style-type: none">・ 1年1組のお友達、よろしくね。(歌遊び+話し合い+自己紹介+紹介ゲーム)・ 困っている友達を助けよう。(歌遊び+話し合い+ミニミニ劇)・ 1年1組の学級会の名前と、学級のめあてを決めよう。・ 1年1組が楽しく気持ちよくなるお仕事を決めよう。(係決め)・ 学級の金魚の名前を決めよう。

本学級の子どもは、学校生活に少しずつ慣れてきて、周りの友達と関わるようになってきている。しかし、長い時間活動することや、みんなの前で発表したり、友達の考えを最後まで聞いたりすることは難しいようである。そこで、1単位時間をいくつかに分け、歌遊びや簡単なゲームなどを取り入れ、話し合い活動を持続させるようにした。また、みんなの前でも自分の考えを発表できるように、遊びの場や仲間づくりゲームなどの場で、自分の思ったことを発表する機会をつくり、お話しキャラクター（つぼみちゃん）を使って楽しく発表できるようにした。

また、子どもの様子やつぶやきの中から議題をいくつか取り上げ、それを紹介し、話し合いたいことを選べるようにした。4月の段階では、選んだ議題を、「話し合い+その場実践」でワンセットにして行うことで、話し合ったことをみんなで実践していくという学級活動の流れを実感できるようにした。そして、会の進め方については、朝の会や帰りの会で輪番制で司会を行い、みんなの前で話し合いを進めていくことに慣れるようにした。

実践段階では、決められたことを頑張って取り組む姿が見られた。しかし、守ることができていない友達に対しての注意の仕方トラブルになることがあった。また、なかなか友達と関わるができなかったり、友達と関わることを嫌がったりする子どももいた。

そこで、自分たちで決めたことをみんなで取り組むと、楽しいことやうれしいことがあるということを実感できるように、目に見える形にして掲示するようにした。そして、形として表れたみんなの取組を称賛することで、みんなで決めたことをみんなで実行することのよさや大切さを感じることができるようになった。

(3) 話し合い活動における課題やめざす方向

本学級の子どもは、学級会をすることのよさについて、まだよく理解していないが、自分の思ったことや考えたことを発表したり、友達の考えを聞いたりする時間があることには気付いてきている。しかし、話し合い活動の途中から集中できないこともある。また、話し合っていることや友達の意見を理解できない子どもや、自分の言いたいことをうまく伝えきれない子どももいる。

そこで、困ったことやみんなで行いたいことがあるときには、みんなで話し合っってよい方法を見つけて解決することができることを教える。そして、話し合う際には、教師が司会役を行い、話し合い活動の流れを体験できるようにする。その中で、話し合い活動を進めるためには、自分の考えを進んで発表したり、友達の意見を聞いたりすることが大切だということが分かるように、言葉掛けを工夫する。また、進んで話し合い活動に参加している子どもを称賛することで、友達の意見を聞いたり、自分の意見を発表したりすることに意欲をもち、話し合い活動に集中できるようにする。さらに、話し合ったことを、みんなで実践することで、楽しい学級生活をつくっていけることを理解できるように価値付けしていく。

3 議題について

本学級の子どもは、これまでに、みんなに考えて欲しいことがあったときに話し合い活動を行い、考えを出し合っって解決し、みんなで頑張ることを決めて取り組む活動を行っている。しかし、話し合う経験が少ないために、どのようなことを議題に挙げるとよいか考えるのは難しいようである。また、文字を読んだり、書いたりする量についても個人差があり、前もって自分の考えを書くことは難しい子どももいる。

そこで、日常の生活や遊びの中から、子どもの様子やつぶやきを聞き、みんなで話し合った方がよい議題をいくつか決めた。そして、その中から話し合う議題をみんなで一つ決めた。今回は、「昼休みいっぱい遊びたい。」「みんなともっと仲良くなりたい。」というつぶやきに注目し、一人よりみんなで遊ぶ方が楽しいし、みんなのことを知ることができて、もっとみんなが仲良くなれるという提案から、「みんなで遊んで仲良くなろう」という議題を選定し、話し合い活動を行うことにした。

4 指導に当たって

子どもの願いにもあったように、今回は、学級のみんなで遊んで仲良くなろうという相手意識・目的意識がはっきりしている。また、遊びがうまくいかなかったり、楽しくなかったりするときはどういうときかの理由も、今までの体験から分かっている。しかし、自分の思いや考えを言葉に表すことができなったり、みんなの前だと緊張や恥ずかしさから発表できなったりする子どももいる。また、事前に自分の考えをノートに書いておくことも難しい段階である。そこで、1年生の子どもが安心して発表できる手立てを行うようにする。

具体的には、話し合うことを理解し、事前に自分の考えをもち、安心して話し合い活動に参加できるように、休み時間などを利用して、遊んでいる輪の中に入り聞き取り調査をする。また、学級会について分かるように、ペア話し合いの仕方について、「つぼみちゃん」を使って説明し、自分の考えを発表したいという気持ちになるようにする。そして、板書資料の工夫を行うことで、話し合い活動の流れを分かりやすく理解させ、子どもが見通しをもって集団決定をしていくことができるようにする。

また、実践段階の振り返り際には、楽しかったことや友達のよいところを振り返ることができるように、「つぼみちゃん」を効果的に活用する。具体的には、話し合い活動で集団決定することで、「つぼみちゃん」に花が咲き、集団決定したことを実践できたときに、実がなるようにする。花や実をその都度、教室に掲示していくことで、話し合ったことをみんなで実践できたことが実感できるようにする。そして、みんなで話し合っって決めたことをみんなですることのよさを価値付けするようにする。その際、その場で活動しているときのつぶやきや感想なども記録して紹介するようにする。

5 第1学年及び第2学年の評価基準

	集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
事前	学級の身の回りの問題に関心をもったり、先生の話をよく聞いて話し合いの準備に取り組もうとしたりしている。	議題についての自分の考えをもち、話し合いの順序など簡単な計画について教師と一緒に考え、準備している。	話し合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。
話し合い	共感的な態度で、最後まで集中して話し合おうとしている。	よりよい学級の生活づくりに向けて教師と一緒に異なる意見の違いを考え、判断し、話し合っている。	
事後	決定したことについて、友達と仲良く準備や計画に取り組もうとしている。	決定したことや役割を考え、決まりを守って仲良く実践している。	決定したことについて、みんなで実践することの大切さや方法について理解している。

6 活動の流れ

	期日	活動内容	教師の手立て	めざす子どもの姿と評価方法〈 〉
事前の活動	4/25 ～ 5/2 5/7	○ 議題を集める。 ○ 集めた議題から、みんなで話し合いたいことをみんなで決める。	○ 日常の生活や遊びの中での子どもの様子やつぶやきから、議題を集める。 ○ 議題の選定の仕方について、優先順位を説明し、選定されなかったものは、係などに分担して取り組むことができるようにする。	関話し合いに向けて関心を持ち、生活の中から話し合いたいことを見付けようとする。 〈観察〉 知学級活動で話し合うのにふさわしい議題を選択することを。 〈観察〉
	5/11	○ 第1回話し合い活動の準備 ・話し合い活動の議題と提案理由を説明し、話し合う柱を決める。	○ 決まった議題とその提案理由から、話し合い活動の柱の決め方を説明し、みんなで一緒に決められるようにする。 ○ 話し合い活動が必要な理由を説明し、どのような話し合いをして、問題を解決していくか、「つぼみちゃん」を使って紹介する。	知議題名や提案理由、話し合い活動の柱の決め方など知る。 〈観察〉
	5/12 ～ 5/17	○ 第2回話し合い活動の準備 ・今回の議題に対する自分の考えをもつ。	○ 事前に自分の考えをもつことで、話し合い活動への意識を高め、不安を取り除けるように、一人一人の考えの聞き取り調査をする。 ○ 遊びの中で楽しくなくなるときはどのようなときかも調べておく。	思自分の意見やその理由を考えている。 〈聞き取り〉 知学級会当日に使う教具や板書資料の準備について知る。 〈観察〉
本時	5/18	○ みんなで取り組むことや、目的達成のために必要なきまりを話し合う。	○ 教師が司会・進行・黒板などの話し合い活動に必要な役割を行う。 ○ 話し合い活動のキーワードに沿って、取り組むことを決められるように会を進める。	※ 本時を参照
事後の活動	5/21	○ 話し合い活動で決まった遊びをみんなでする。 ○ 話し合い活動で決まったきまりを守って遊ぶようにする。	○ 教師も遊びの中に入り、みんなで決めたきまりを守ると、みんな楽しく遊べるという気持ちを持続できるように支援する。	思学級で決まったことを守り、また、守れていない友達に対しても優しい言い方で注意している。 〈観察〉 関決定したことについて、友達と仲良く準備や計画に取り組もうとしている。 〈観察〉
	5/21	○ 感想や友達のよいところを出し合う。	○ 友達のよいところや感想を出し合い、みんなで決めたことをみんなでできたことを称賛して価値付けし、みんなで活動することの楽しさを強調する。 ○ 話し合ったことを実践できたことが分かるように可視化する。	知仲良く活動するよさが分かり、友達とより親しくなれたと感じている。 〈質問紙〉

7 本時の活動

(1) 目標

学級みんなで話し合い、みんなで取り組むことが決まることで、話し合うことの楽しさと学級みんなのことを考えて行動することの大切さを考えることができるようにする。

(2) 評価基準

- 共感的な態度で、最後まで集中して話し合おうとしている。【集団活動や生活への関心・意欲・態度】
- よりよい学級の生活づくりに向けて教師と一緒に異なる意見の違いを考え判断し、話し合っている。【集団の一員としての思考・判断・実践】

(3) 指導に当たって

事前に、話し合い活動の流れと、柱1の「どんな遊びをするか」について学級の意見を集約していくつかに絞り黒板に書いておく。本時においては、司会は教師が行い、副司会は子どもで、簡単な進行を行う。提案理由の説明では、今まで取り組んできたことを振り返り、話し合う必要性を感じた理由を想起できるように、子どもの遊びの様子を絵カードで紹介する。その提案理由を基にから今日の話合いのキーワードを説明する。また、見通しがもてるように、話し合い活動の進め方と時間配分も伝える。

柱1の「どんな遊びをするか」では、まず、意見を「出し合うタイム」を設定し、その後、「比べタイム」「決めるタイム」というように、集団決定までの流れが視覚的に分かるようにする。そして、発表した意見には、意見マークを貼るようにする。その際、キーワードに沿った意見を意識できるように、キーワードに沿ってマークを色分けして貼ることができるようにする。また、理由まで発表できたときには、教師が称賛の言葉を入れる。その中でポイントになる理由については、板書して残すようにする。心配な点が出てきたときには、解決する方法や付け加える意見を出させ、意見をつなぐようにする。

柱1と柱2の間に、興味・関心を持続させ、再度、話し合い活動に集中させるために、簡単なゲーム(ちょこっとゲーム)を行う。

柱2の「きまりをどうするか」では、まず、遊んでいて楽しくなくなるときはどうか聞き取り調査から分かったことを紹介する。そして、みんなが楽しく遊ぶためには、どんなきまりが必要か、考えられるようにする。次に、意見を出し合った後、出てきた意見について考えを付け加えるものはないか聞いたり、話し合い活動のキーワードや学級の目標と比べ合わせたりして価値付けする。意見を比べる場面では、必要に応じてペア話し合いを入れ、他の友達はどう考えているのか知ることで、安心して発表できるようにする。

振り返り際には、本時のめあてを振り返り、発表の仕方や聞き方がよい子どもを称賛する。さらに、出てきた意見に付け加える意見を出した子どもも称賛する。そして、集団決定することができたことを価値付けし、実践意欲を高められるようにする。

このようにして、話し合い活動入門期の子どもに、「学級会で話し合うのは楽しいな。」「話し合ったことを早くやってみたいな。」「自分も司会をやってみたいな。」などの気持ちをもつことができるようにする。そのために、板書資料を工夫して楽しく取り組ませながら、話し合い活動に興味・関心をもち、楽しく話し合ったり集団決定を行ったりしていけるようにする。

(4) 本時の展開

第6回 1年1組学級会(いちくみいちばんぼしかい) 5月18日(金) 司会・書記(先生) 副司会(日直)		
議題 みんなで遊んで仲良くなるう		
提案理由 みんなで楽しく遊んでみんなのことを知り、みんながもっと仲良くなってほしいから。		
話し合いのめあて 「みんなが仲良くなるために、みんなで楽しくできる遊びを話し合おう。」		
話し合いの流れ	・予想される子どもの意識	○ 手立て □ めざす子どもの姿
1 はじめの言葉	・発表したいけど緊張するな。	○ 板書資料は、話し合いの流れに沿って黒板に貼って準備しておく。
2 学級会の歌	・楽しくなってきたよ。ワクワクしてきたね。	○ 緊張をほぐし、話し合い活動について確認できるようにみんなで作った学級会の歌を準備する。
3 議題の確かめと提案理由の説明	・みんなで遊ぶ日、楽しみだな。 ・みんなで遊んだら、みんなが仲良くなりそうだね。 ・みんなで遊んで、みんなで遊ぶことが楽しくなるといいね。	○ 話し合う必要性を思い出せるように、提案理由の紹介で、絵カードを使って振り返ることができるようにする。

<p>4 話し合い 〈柱1〉どんなあそびをするか。 ・先生の話 ・キーワードの確認 ・話し合い</p> <p>○ ちょこっとゲーム</p> <p>〈柱2〉きまりをどうするか。 ・先生の話 ・キーワードの確認 ・話し合い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、ドッジボールをしたいです。 ・ぼくは、だるまさんが転んだをしたいです。 ・わたしは、おにごっこに賛成です。 ・わたしは、遊具遊びがしたいです。楽しいからです。 ・わたしは、なわとびに賛成です。みんなで跳んだら楽しいからです。 ・ぼくは、おにごっこは、みんなでできるので、楽しいと思います。 ・キーワードに合っているのはどれかな。 ・みんなで楽しむことができるのはどれかな。 ・〇〇に決まったね。 ・今度の月曜日にするんだね。楽しみだな。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで遊ぶと楽しいな。 ・きまりを守らないと楽しい遊びもつまんなくなるね。 <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇をしたら、けんかになって楽しくなくなったんだよね。 ・悪口を言わない。 ・ルールを守る。 ・〇〇というルールを入れるとよいと思います。 ・いじけない。 ・負けても文句を言わない。 ・応援をする。 ・できないときには、「だいじょうぶだよ」と励ます。 ・キーワードに合っているね。 ・そうすれば、仲良く遊べそうだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 提案理由から、今日の話し合いのキーワードを説明する。(キーワード：みんなで遊べる・みんなが楽しめる) ○ 見通しがもてるように、時間の確認をする。 ○ どこを話し合っているか分かるように、話し合いの過程に、「今ココマーク」をつける。 ○ 出し合うタイムでは、賛成する意見をどんどん挙げさせ、発表する楽しさを味わわせる。 ○ 理由まで言える子どもには理由も付け加えさせる。 ○ 比べタイムでは、出てきている意見を比べ合わせ、心配な点があったら、解決する方法はないか考え、アイデアを出し合わせる。 ○ 決めるタイムでは、キーワードや学級の目標と照らし合わせたり、理由を比べ合わせたりして収束を図り、みんなで遊ぶことを決定させる。 関出し合う場面では、自分の意見を進んで発表している。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 興味・関心を持続させ、再度、話し合い活動に集中できるようにする。 ○ 「ちょこっとゲーム」でしたことを、柱2の話し合いにつなげる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に聞き取り調査をした中から、遊びの中で、今まで楽しくなくなったときの理由を紹介し、楽しくするためのみんなのきまりを決めるようにする。 ○ キーワードを確認する。(キーワード：みんなが楽しめる・みんなが仲良くなれる) <ul style="list-style-type: none"> 関友達の意見は全てよく聞き、自分の考えと同じ考えにうなずいている。 思全員にとってよりよいものを選ぼうとしている。
<p>5 決まったこと確かめ 6 振り返り 7 先生の話 8 おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで遊ぶ日が楽しみになってきたな。早く来ないかな。 ・〇〇さんは、大きな声で分かりやすく発表していました。 ・〇〇さんは、理由も言えたのですごいです。 ・〇〇さんは、友達の発表を、よい姿勢で聞いていたので、よかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ うなずきながら聞いていた子どもや、キーワードに沿って発表できた子どもを称賛する。 ○ 集団決定できたことに対してみ称賛し、話し合うことのよさを感じさせる。 思話し合いにおける友達の意見や聞く態度のよさを見付け、称賛している。